

平成24年秋の叙勲で瑞宝単光賞に社会福祉功労で 元養護老人ホームときわ寮介護員の玉井通子さんが 受賞されました。

昭和57年に特別養護老人ホームときわ寮川辺園に寮母として奉職して以来、30年近くにわたり、専門知識や熟練した介護技術を活用して、利用者の介護ニーズに応え、高齢者が快適で安心して安全な生活が送れるよう、介護支援と生活支援に尽くした。

勤務先は川辺園から特養ときわ寮、同園訪問介護事業所などと変わり、主任支援員、主任介護員、総括主任介護員などを歴任。配属先が変わっても常に奉仕の精神を忘れず、相手の立場に立って職務を遂行した。相談業務においても、深い洞察力と理解力で利用者から大きな信頼を得ている。

また、後輩の指導や育成にも力をそそぎ、和を重んじ、職員のスキルアップや施設運営、地域福祉の向上に尽くした。

これらの功績が認められ、平成13年に全国社会福祉協議会長から感謝状(社会福祉功労)、平成15年に同会長から表彰状(同)、平成21年に県知事表彰の「白梅賞」、平成22年には厚生労働大臣表彰(社会福祉功労)を受賞した。

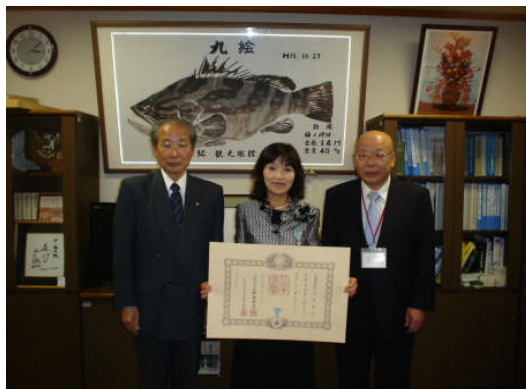
こうした数々の受賞は30年近くにわたる誠意と熱意、忍耐強い努力の積み重ねによるものであり、その名は福祉施設従事者のかがみとして広く関係者に知られているところであり、施設での勤務を通して老人福祉に貢献した功績は誠に顕著である。

玉井さんの話

先輩、同僚、家族、入所者みなさまの温かいお力添えがあったからで、感謝しています。ありがとうございました。

紀州新聞の記事より

居住地の日高町の中町長様へ組合事務局長と共に受賞の報告



白梅賞に養護老人ホームときわ寮の松本佐智子さんが受賞されました。

知事が社会福祉の向上に大きな功績のあった人をたたえる白梅賞の本年度受賞者が決まり、日高地方からは御坊日高老人福祉施設事務組合養護老人ホームときわ寮の主任介護支援員松本佐智子さんが選ばれた。



松本さんは、昭和63年4月、美浜町和田の養護老人ホームときわ寮に臨時寮母として採用され、同年10月からは正職員（同寮調理員）として勤務。平成4年10月からは寮母となり、10年には特養ときわ寮寮母、16年には特養ときわ寮川辺園介護員に異動となり、特養ときわ寮の介護員などを経て、ことし4月からは養護ときわ寮で主任介護員、特定施設入居者生活介護事業所主任介護支援員などを務めている。

24年6カ月にわたり、高齢者介護の最前線で地域の社会福祉向上に貢献。昨年は全国老人福祉施設協議会会長表彰を受けた。今回の白梅賞受賞に松本さんは、「まさか私がこのような賞をいただけるなんて、驚くとともに大変喜んでいきます。これも施設の先輩、同寮、そして入所者の皆さんの温かいご指導と支えがあったおかげ。この受賞を励みに、これからも頑張っていきたいです」と話している。

日高新報の記事より